

12. ババヌキ de ABC

プレイヤーの人数：4、5人
カード以外に用意するもの：なし



Aim <目的>

アルファベットの文字一つ一つの形を見分け

To Get Ready <始める前に>

4、5人のグループをつくります。

各グループはカードを1組用意し、そこから大文字のA～M、小文字のa～mと大文字のXを抜き出します。

抜き出したカードをよく切り、ババヌキの要領でグループ全員に配ります。

To Play <遊び方>

各々配られたカードを取り、他の生徒には自分のカードを見られないようにします。

手持ちのカードで大文字と小文字のペアができたら、テーブルの上に出します。

後はババヌキの要領で、隣のプレイヤーからとったカードを使ってさらに大文字小文字のペアを作ってはカードを捨てる、というようにします。

最初にカードが全部なくなった生徒が勝ちです。

最後の生徒に大文字のX（ババ）1枚が残るまでゲームは続きます。

Variations <その他にも>

大文字小文字のペアが難しい場合は、カードを2組用意して、大文字のペア、または小文字のペアを作るようにしてやってみましょう。

よくできるクラスの場合は、もちろんA～Mに留まらずいろいろと変えてみましょう。



27. ABC ビンゴ

プレイヤーの人数：2人以上
カード以外に用意するもの：なし



Aim <目的>

単語を聞いて、その単語の最初の音の文字を26文字から選ぶ

クラス全体が盛り上がることまちがいなし！

To Get Ready <始める前に>

先生は、(また生徒の1人を代わりに選びましょう) Xと赤のY以外の大文字のカードをよく切り、文字が書かれている方を下にしてその山を自分の前に置きます。生徒は各自Xと赤のY以外の大文字のカード25枚を、ビンゴのカードのように縦5列横5列に並べます。その際、文字が書かれている方を上にし、生徒はそれぞれ25枚のカードを自分の好きなように並べます。

To Play <遊び方>

先生(または選ばれた生徒)はカードの山から一番上のカードをひき、その文字で始まる単語を言います。

縦、横、または斜めに5枚直線で裏返って並んだら "Bingo!" と言います。生徒の5枚ビンゴカードを先生のひいたカードと合っているかを確認しましょう。

Variations <その他にも>

25枚の中心のカードをフリーカードとして裏返してから始めさせましょう。

単語の最後の文字で同じようにゲームをしても面白いでしょう。

初級レベルのクラスなら、カードを縦横3枚ずつか4枚ずつに並べたり、使う文字も先生が簡単なものを選んであげたりすると、上手にできます。

さらに初級のレベルでは、単語ではなくひいたカードの文字の音だけでやってみましょう。

文字の名前を練習段階のクラスでは、ひいたカードの文字の名前で言います。ビンゴの列を2列、3列、L字型などいろいろ変えてみても楽しいです。

